

救急時の課題抽出のための意見交換会

『今さら聞けない！誤嚥性肺炎とは』 ～明日から活かせる食支援の視点～

合同会社Comer 代表
摂食・嚥下障害看護認定看護師
3学会合同 呼吸療法認定士
大城清貴



▶ 2000年
看護師取得 友愛会入職

▶ 2012年
摂食・嚥下障害看護認定看護師取得

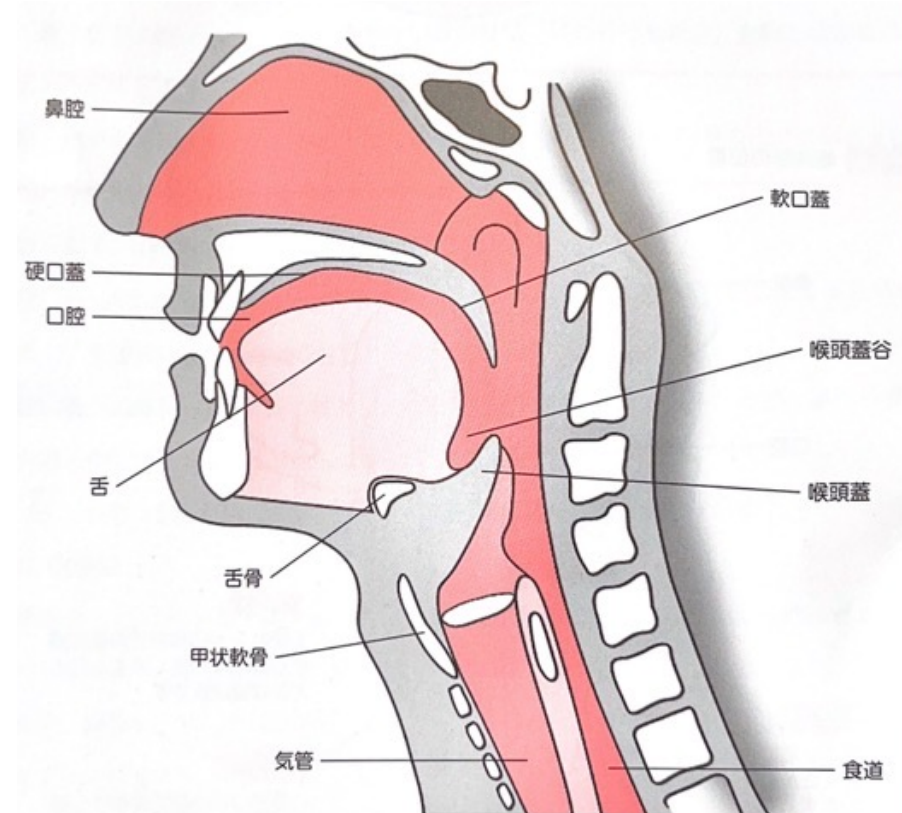
▶ 2022年
食支援コンサルタントナース



食べる機能



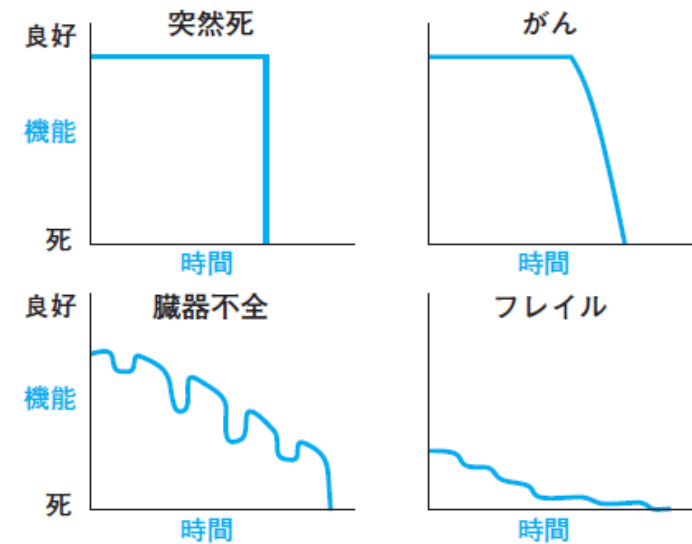
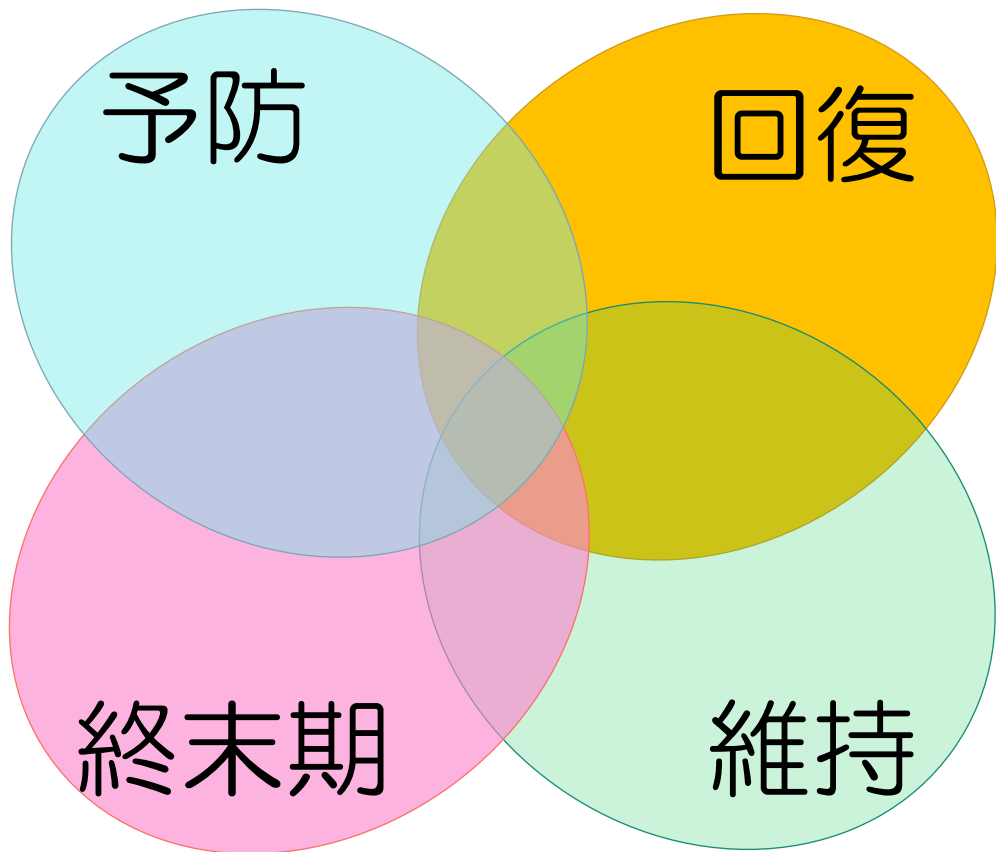
正常



气管が前 食道は後ろ

食支援の捉え方

食支援はステージ別で関わり方が異なる



口腔ケア 食事介助
疾患 栄養 嚥下訓練
姿勢 食形態 とろみ
薬剤 看取り 認知症

情報交換

所属している施設における
食の支援に関して

どんな悩みがありますか？

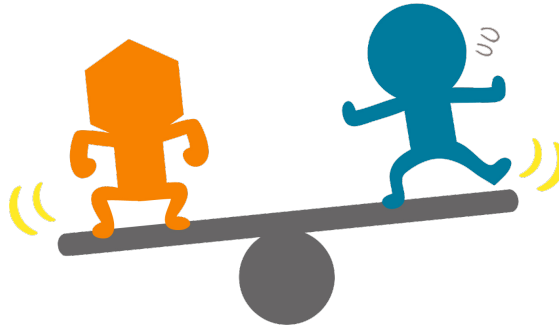
どんな工夫・取り組みをされていますか？

誤嚥性肺炎

誤嚥性肺炎の発症は**侵襲**と**防御機能**のバランスで起こる

防御機能

- 喀出力
 - ・ 咳嗽反射
 - ・ 気道粘膜機能
- 免疫力
 - ・ 栄養状態



誤嚥物の侵襲性

- 病原性
 - ・ 細菌の種類
 - ・ 化学性物質のpH
- 量及び侵入部位
 - ・ 誤嚥の量

誤嚥 ~~≡~~ 誤嚥性肺炎

口腔ケア

リハビリテーション

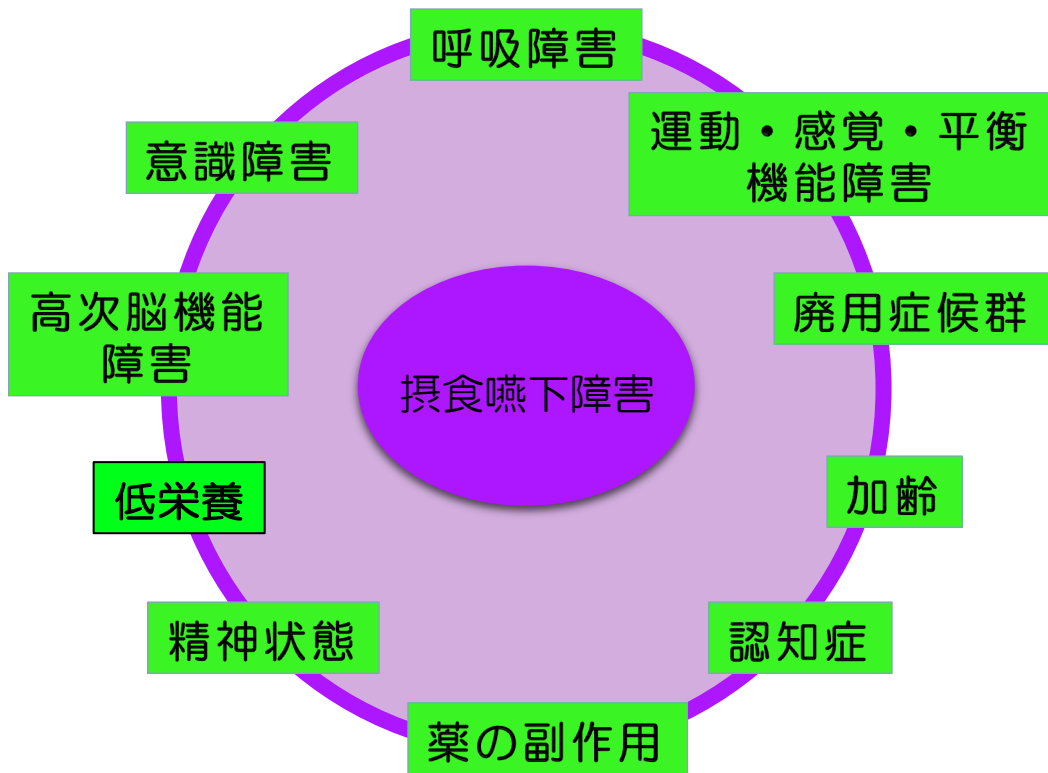
栄養ケア

食形態調整

姿勢調整

食事介助

摂食嚥下障害の原因



小山珠美：ビジュアルでわかる早期経口摂取実践ガイド,日創研,2012

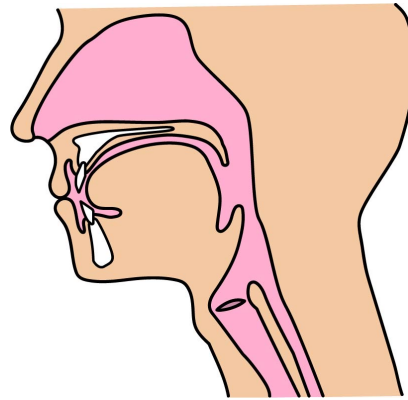
脳卒中・神経筋疾患・頭頸部癌
精神疾患・認知症・サルコペニア
etc

食支援に必要な要素



嚥下の5期モデル

先行期 準備期 口腔期



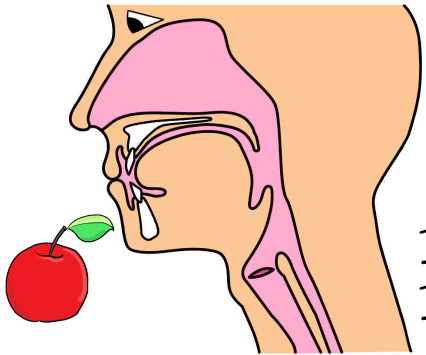
咽頭期

食道期

食物を食べる為には順番がある

嚥下のメカニズム

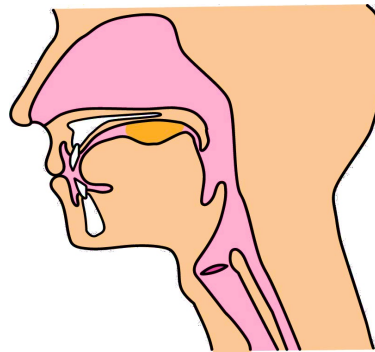
① 先行期



覚醒
食欲
姿勢
食事動作

食事を認識
食べる準備

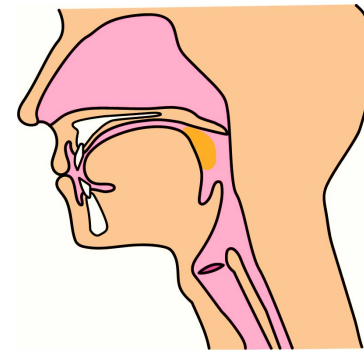
② 準備期



咀嚼筋・頬筋
口輪筋・舌
唾液・歯

もくもぐ（咀嚼）
食塊形成

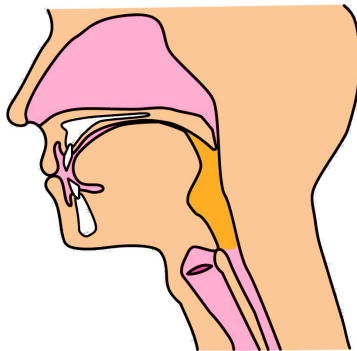
③ 口腔期



舌を口蓋に
押し当てる
鼻咽腔閉鎖が
始まる

舌を使って食物を
喉へ移動させる
ごっくんの始まり

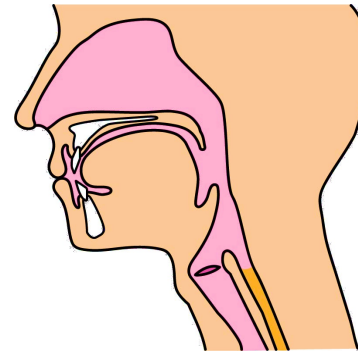
④ 咽頭期



喉頭挙上
喉頭蓋を閉じて
呼吸を止める
食道が開く

嚥下反射
誤嚥せずに
食道へ送り込む

⑤ 食道期

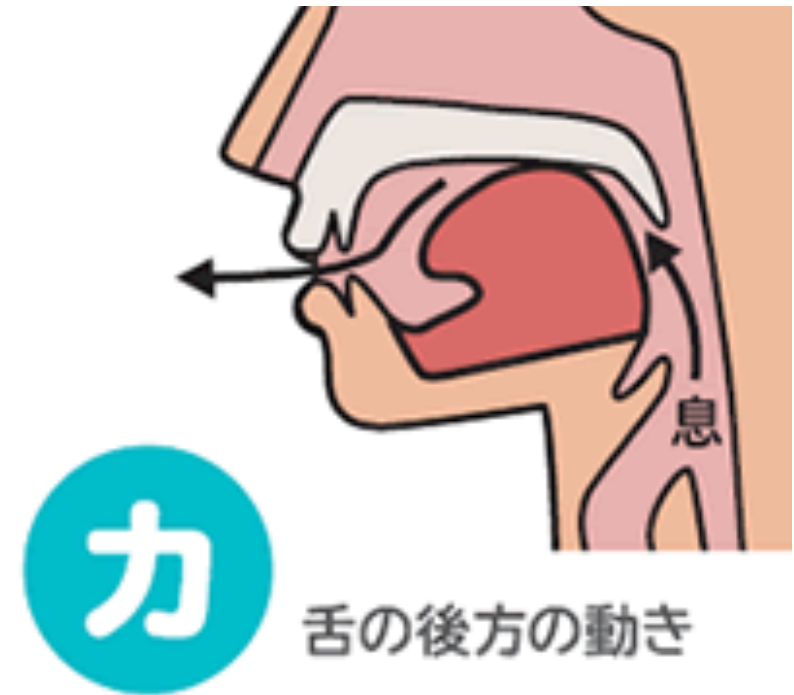
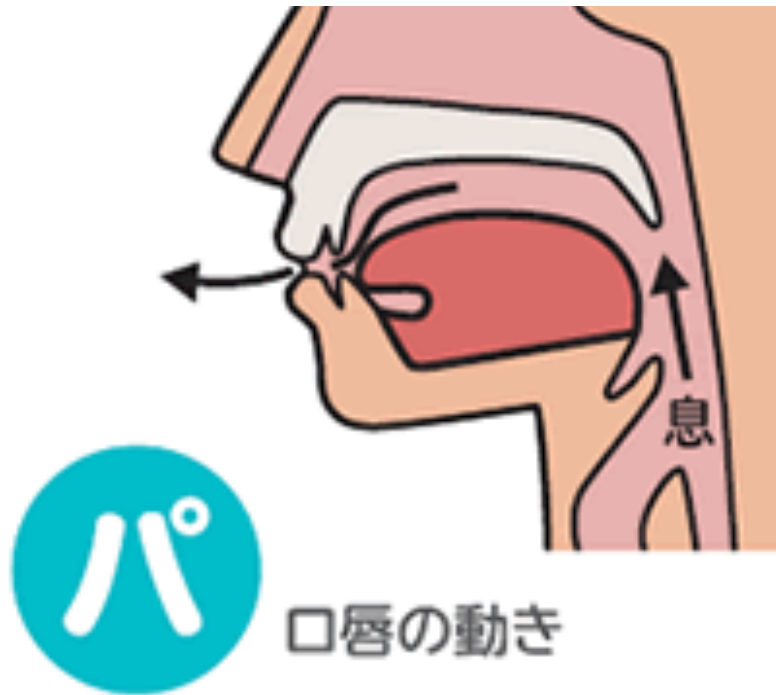


食道の蠕動運動で
胃まで送り込む

嚥下の5期の体験

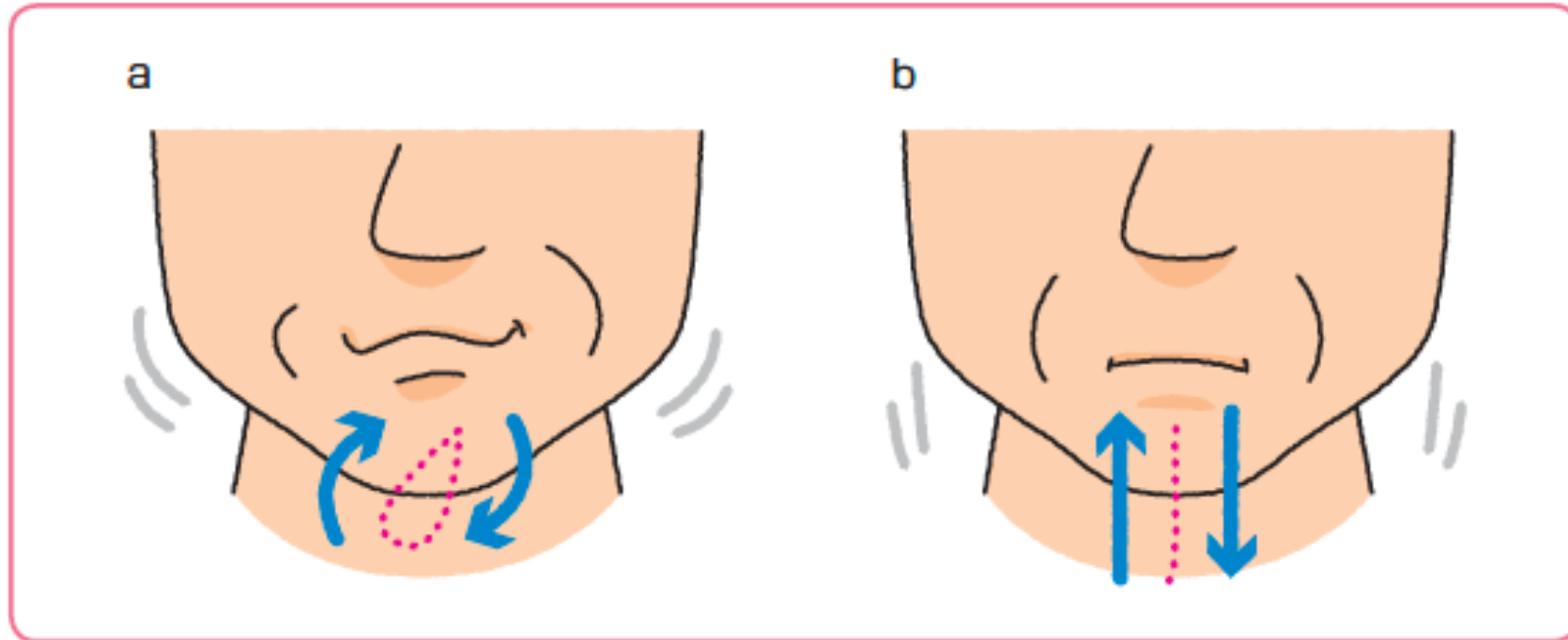
- **先行期**：食物を認識・口に取り込む
- **準備期**：咀嚼・食塊形成
- **口腔期**：食物を咽頭へ送り込む
- **咽頭期**：嚥下反射・誤嚥せず食道へ移送
- **食道期**：胃までの移送

お口の動きをチェック



咀嚼の評価

サクサクテスト (saku saku test : SST)



※ハッピーターンを使用

- a. 回転運動を認めればSST **良好**
- b. 上下運動のみの場合はSST **不良** と判定する

摂食嚥下障害者の観察

ムセがある

口に溜め込む

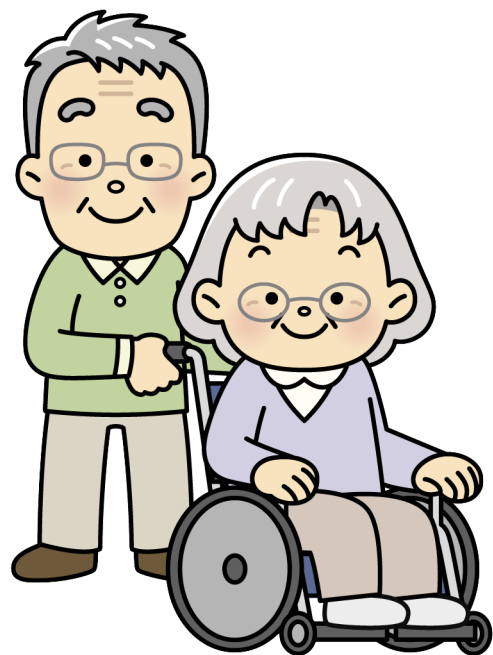
口を開けてくれない

摂食量が少ない

時間がかかる

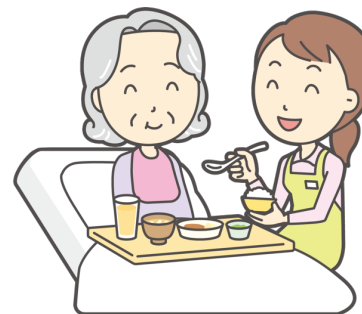
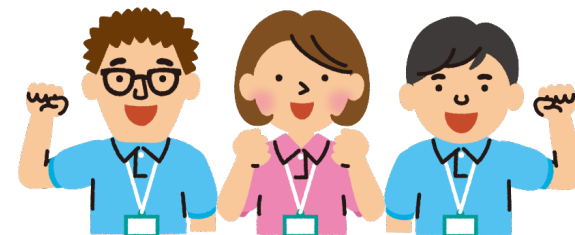
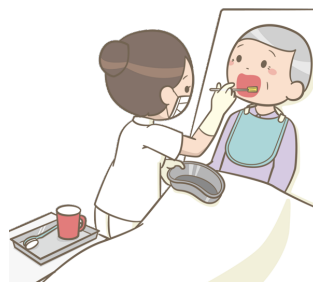
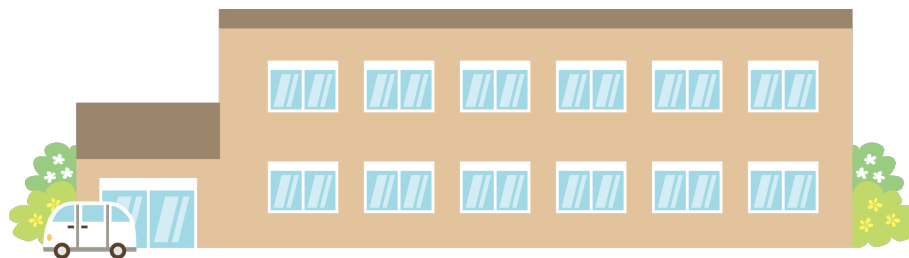
悪い部分だけでなく良好な部分も
見るようにしたい

本人



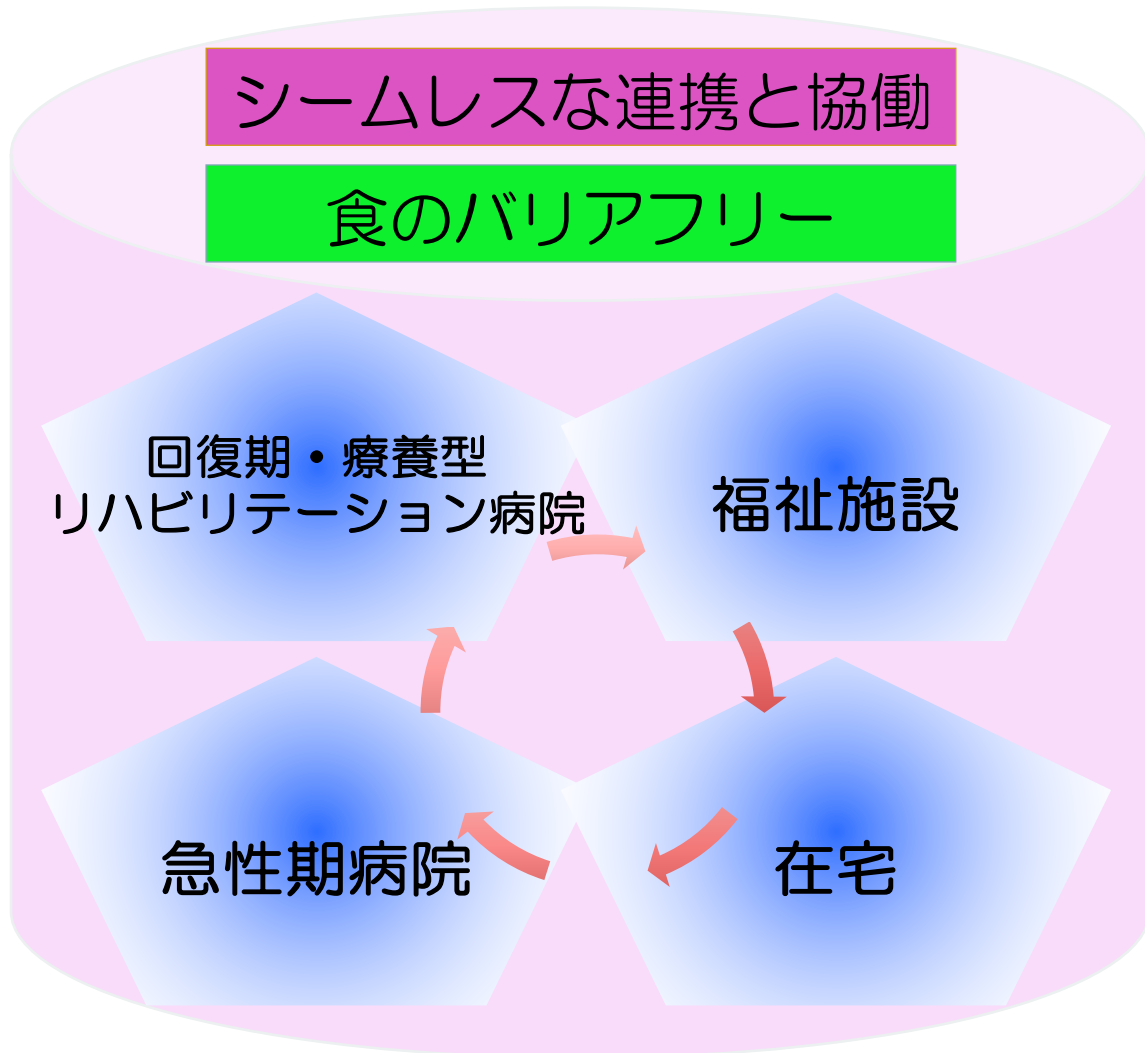
病気・嚥下機能
生活背景

対象者に関わる環境



地域の課題

食の地域連携体制が不十分



食支援を実践できる人材の不足

誤嚥性肺炎による
入院期間の延長
高齢者施設の収益減

ケアの方法が
分からない

ご本人・ご家族の
心理的ストレス
(施設職員含む)



どのように関われば
いいのかわからない

不適切な
食形態の提供

多職種連携
地域連携が不十分



2022年11月



食支援コンサルタントナース

Comerはスペイン語で「食べる」という意味と心を「込める」という意味で名付けました。

ありがとうございました。